



砂場で作ってみよう作戦！



めろんグループ (3、4、5歳児たてわり)

「ビー玉転がし」の遊びが大好きな子どもたちです。上から下に転がっていく遊びを外でも楽しもうと「砂場で作ってみよう作戦！」が始まりました。

まずはどんなもの(道)にしたいかを問いかけると「大きな山」や「トンネル」と言う意見が出ました。それを絵に描いていくとイメージがわき「山の上から水を流したい」「下に水たまり(池)があるといい」「山をいっぱい作る」など3、4歳児からも意見がたくさん出ました。



ビー玉転がし遊び

積み木やスロープを使ってビー玉が転がる道を作ります。

高い所から低い所へ転がる性質や組み方によってビー玉の動きが変化する面白さもあり何度も作って楽しんでいます。



「今度はこっちにも山を作ろう」
「手でトントンして固くしよう！」
「ここからトンネルにする！」



翌日、みんなで作り始めると「大きい(シャベル)がいる!」「トントンしながら作ろう」など自分なりに必要なものや方法を考えて友だちに伝え作っています。

シャベルで山をトントンと叩くと崩れてしまうことに気づき手で固めたり、大きな山が出来あがってくると「こっちにも作ろう」ともう一つ作り始めていました。出来上がるとトンネルを掘り、出口に池を作り、水を流します。水路に沿って流れていく水を見て楽しんでいました。しかし何度も水を流すうちに砂が溜まったり、水圧で水路が崩れるなどの出来事も起こり、その度に砂を取り除いたり、水の流し方を変えるなど繰り返し試していました。水路に沿って水が流れていくたびにみんなで喜んでいました。



「ぼくの手、見える？」
「まだ見えん！手、動かしてみて！」



「あれ？水が出てこない！」
「砂がある。(溜まっている)今、取るけん。」
「あー！水が出てきたよ！」

- 友だちの考えを聞いたり見たりしながら作りたいものをイメージする…豊かな感性と表現
- 繰り返し遊びながら自然物(砂・水)の特徴に気づいていく…思考力の芽生え
- 友だちと共通の目的を持って遊ぶ…協同性